

# 質 問 回 答 書

※ この MS-WORD 文書のまま送付お願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください)

2020 年 11 月 27 日

「ネパール国シンズリ道路輸送力強化に係る情報収集・確認調査(QCBS)」

(公示日:2020年11月4日/公示番号:20a00622)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	15-16 頁 7. 業務の内容 (5)シンズリ道路の全区間の機能向上方策の検討 及び 21 頁 報告書目次案	本項目の指示内容に事業費の試算はありませんが、報告書目次案(5)には「4)概略事業費の試算」とあります。拡幅可能区間における拡幅、および拡幅不可能区間における代替ルートを検討において事業費積算が求められると判断してよろしいでしょうか。	当該項目(シンズリ道路全区間の機能向上方策の検討)において想定する業務は 15-16 頁に記載のとおりで、事業費積算までは想定しておりません。21 頁では記載の不整合があり失礼いたしました。
2	15 頁 (4) シンズリ道路の現状分析 1)交通量調査の実施 及び 26 頁 5. 見積書作成にかかる留意事項	本項目の指示内容には、各区分について方向別・車種別交通量を計測するとあり、費用は定額の見積金額として 1,500 千円とするよう指示されています。 台数計測に加えて必要と考える調査を提案した場合、定額の見積金額を超えることが想定されます。それらの調査の必要性が貴機構に認められる場合、定額以上の経費を追加いただけると理解してよろしいでしょうか。	台数計測のほかに追加調査が必要と考える場合には、その理由と具体的内容をプロポーザルにてご提案いただき、見積書上にそのための追加必要経費を明示ください。それらに基づき必要性・妥当性が認められる場合は定額以上の経費の追加についても検討いたします。
3	12 頁 6. 実施方針及び留意事項 (6)第二工区トンネル化に係るル	「将来的に我が国の資金協力による支援の可能性も視野に、その場合の実施前提条件等の検討を行うこと」とは具体的にどのような検討を想	当該項目に既述の自然条件調査(地質調査及びトンネル弾性波探査)及び環境社会配慮のほか、「7. 業務の内容」の特に(2)～(7)に記載の各種

	一トの検討	定されていますでしょうか。	検討を想定しております。
4	11-12 頁 6. 実施方針及び留意事項 (3) 既存資料の十分な活用と効率的な調査の実施	簡易調査報告書について「本調査の初期段階でレビューを行う」とありますが、そのレビュー結果はインテリムレポートの記載事項の対象となりますでしょうか。(19 頁の報告書でインテリムレポートの記載事項は業務内容(1)～(5)と記載)	インテリムレポートにおける記載事項の対象となります。この点 19 頁で明示できておらず失礼いたしました。
5	18-19 頁 8. 成果品等 (1) 成果品・報告書等 (2) インセプションレポート	「第一回現地調査(現地傭人の活用によるリモート調査含む)開始 2 週間前」とありますが、初回の現地渡航前から遠隔で現地傭人と契約し作業着手することは経理処理上問題ありませんでしょうか。	契約締結後であれば問題ありません。
6	24-25 頁 2. 業務実施上の条件 (4) ネパール側便宜供与内容	「5) 移動手段の提供(実施機関の保有する車両に限る)」とありますが、調査期間中の移動手段の一部あるいは全部を実施機関が提供することが合意されているのでしょうか。もしくは、受注者の経費として車両関連費を想定されていますでしょうか。	受注者の経費として車両関連費の見積計上をお願いいたします。
7	13 頁 (10) 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行を踏まえた調査計画の策定	「現地渡航に際しては上記措置(PCR 検査および 14 日間の自己隔離待機)が必要になると仮定した要員計画及び積算を行うこと」とありますが、14 日間の自己隔離期間は、現地稼働に含まれるのでしょうか。	大変失礼いたしました。実際に現地派遣を決定する時期での隔離期間の扱いを現時点で予見することが難しいため、プロポーザルでは隔離期間について考慮せずにご提案ください。隔離期間の取扱いは契約交渉時に確認します。

以上